

有 珠 山

2003 年 9 月の十勝沖地震(M8.0)がトリガーして温度が上昇し湯沼となっていた KA および KB の両火口の水温が低下していたことが 2006 年 4-5 月の観測で確認された。

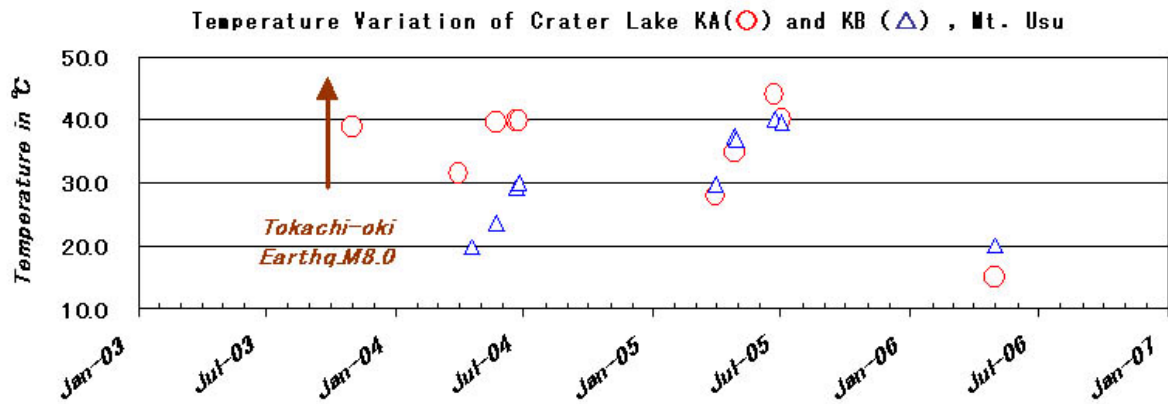


表 1 KA&KB 火口湖の水温の推移。一時は 40 度の温泉水が湛えられていた。

Heating KA Crater, Mt. Usu March 30, 2004

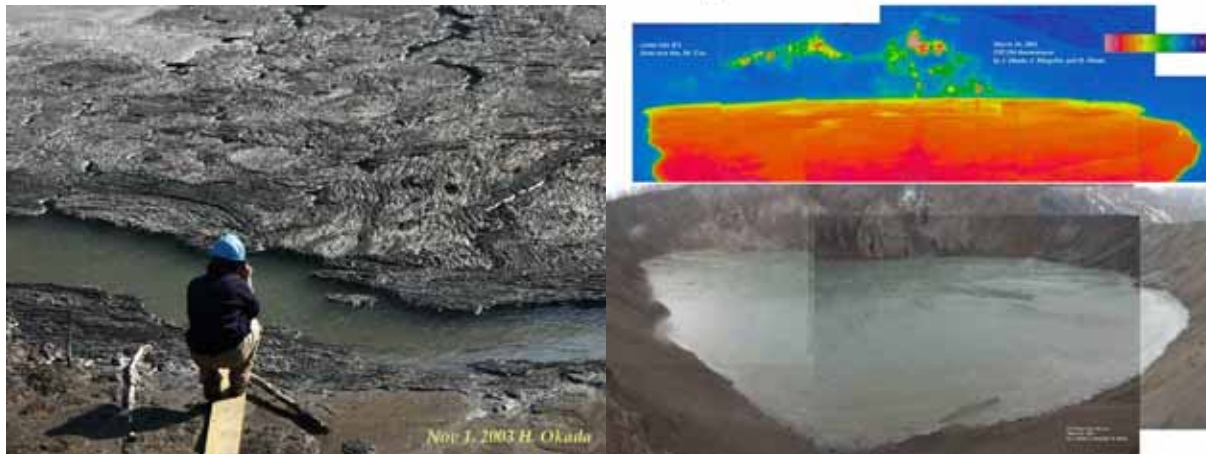


図 1 高温化直後の「中空硫黄」浮遊現象(左)とたっぷりの温泉水を湛えた KA 火口湖 (右)



図 2 3メートル程度水位が下がり、水温が低下した KA 火口の現況(14.6)。

(観測および写真：岡田純・岡田弘による)

有 珠 山

赤外熱映像装置 (TH5104 型) による火口湖の熱的変遷

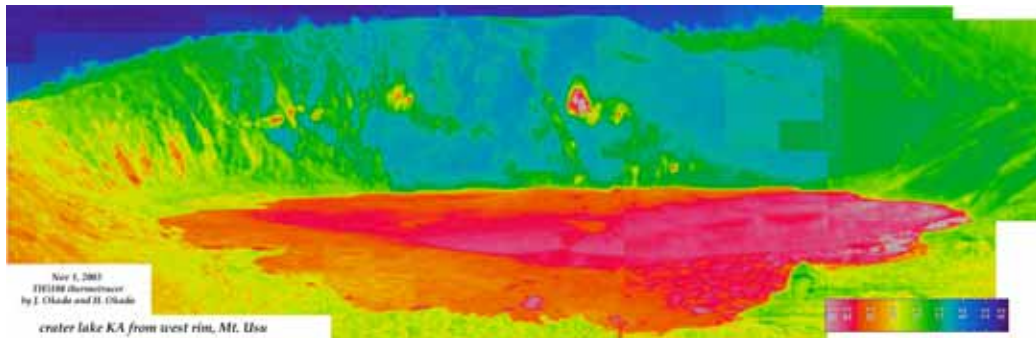


図 3 2003 年 11 月の KA 火口の赤外熱映像 ($T=33.3 \pm 0.73$)

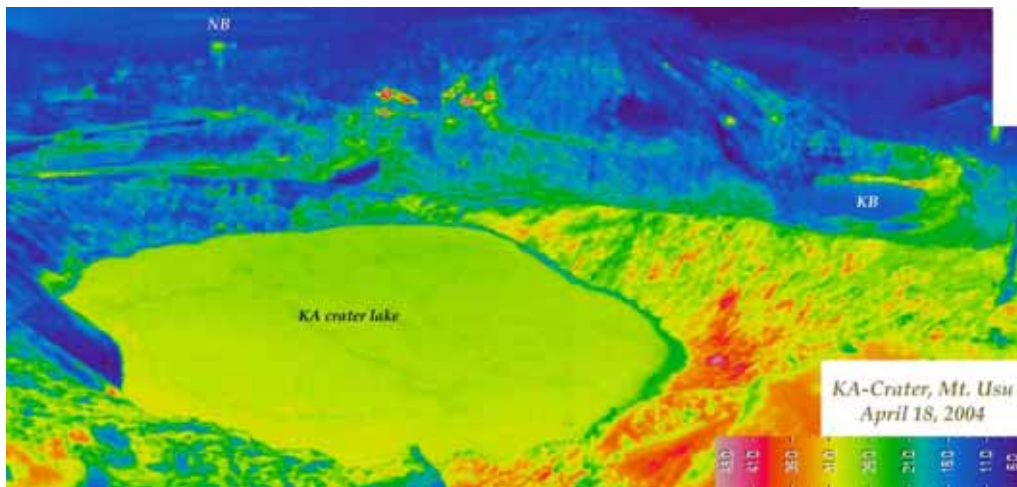


図 4 2004 年 4 月の KA 火口の赤外熱映像 ($T=28.5 \pm 0.52$)

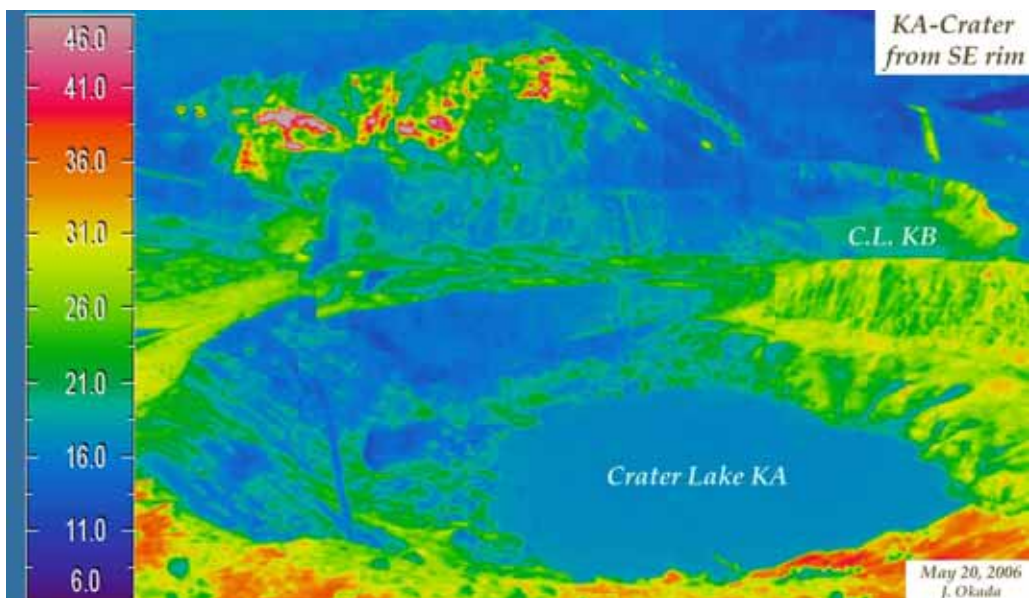


図 5 2006 年 5 月の KA 火口の赤外熱映像 ($T=17.2 \pm 0.27$)

参考 Mrgolin, J., J. Okada, A. Bornas, H. Okada 2004, Minor resumed activity at KA crater of Mt. Usu and suspected triggering mechanism by 2003 Tokachi-oki Earthquake. Dynamics of Volcanic Eruption 2, 568-571.

(観測および写真: 岡田純・岡田弘による)